

明 る い 東 海

〔発 行〕2013年8月28日 NO.69
日本共産党東海村委員会・議員団



大名 美恵子
4 期

村松2401-2
TEL/FAX (284) 0761

議会運営委員会
総務委員会
原子力問題調査特別委員会



川崎 篤子
2 期

白方284-1
TEL/FAX (282) 0229

議会報編集委員会
文教厚生委員会
原子力問題調査特別委員会

村長選

ふく だ あきら 福田明氏が出馬表明



立候補を表明する福田明氏(中央)＝8月28日、県庁内記者クラブ

9月3日告示(8日投票)の東海村長選挙は、原発立地自治体の首長としては唯一、脱原発を主張してきた村上達也村長が引退するなかでたたかかれる全国注視の選挙です。
東海第二原発は、東海村民はもとより、30キロ圏内には94万人が暮らすという日本で最も人口密集地であり、稼働以来34年が経過した老朽化した原発です。過酷事故がおこれば避難は不可能です。同原発の廃炉署名は約30万筆が知事に提出されています。

8月28日、「東海村明るい民主県政をつくる会」と日本共産党の推薦を受けて出馬する福田明氏(56)＝無所属、党北部地区委員長＝が県庁内の記者クラブで会見しました。
記者会見には、「東海明るい会」の佐藤梅子会長、大名美恵子・川崎篤子両村議、日本共産党の田谷武夫県委員長、茨城大学の田村武夫名誉教授が同席しました。
会見した福田氏は、引退する村上達也村長が掲げてきた「東海第二原発再稼働反対」「脱原発」の旗を引き継ぐ立場を鮮明にし、「福島の状態をみれば、廃炉は地元村民と周辺自治体住民に対する責務だ」とのべたうえで、医療・福祉充実の村づくりに全力をあげる決意を語りました。
すでに出馬表明している前副村長の山田修氏(52)が同原発再稼働問題で、「真ん中の位置で村民の意見を聞く」などと発言していることについて、福田氏は「再稼働反対の立場ではない。原発推進派議員の支援も受けている」と厳しく指摘しました。

原発ゼロ
再稼働も輸出もNO!

- 東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める
- 放射能汚染から子どもを守る。甲状腺検査の継続と年齢の引き上げ
- 日本一の福祉のまちをめざす。高校卒業までの医療費無料化、東海病院と福祉行政の連携をつよめて健康づくりの推進
- 常陸那珂港開港への村のかかわりを見直し、これ以上の税金投入をやめ、村民のくらしに使う
- 原子力関連施設安全管理のより一層の徹底。村民の命とくらしを守る
- 脱原発めざす首長会議に参加し、東海村から全国に原発ゼロを発信
- 村長給与の50%削減と村長退職金の廃止

福田明氏の 主な公約

明るい会・街頭政談演説

9月1日(日) 11時～
東海駅東口(イオン前)



田村武夫



福田明

弁士 ■ 田村武夫 茨城大学名誉教授・明るい民主県政をつくる会副会長 ■ 福田明 東海村長予定候補